

The logo of the Saitama Museum of Art is located in the bottom right corner. It features a circular emblem with the text "SAITAMA MUSEUM OF ART" around the perimeter. In the center, there is a stylized graphic consisting of three overlapping, curved shapes in blue, green, and red, forming a shape reminiscent of a flower or a stylized 'M'. Below the emblem, the Japanese characters "さいたま市立美術館" are written in a smaller font.

お名前



●金曜日ーみる！ハナ金「&＼いわざ」授業ー（19:00～20:30）

金曜日は、都心で仕事をしているサラリーマン・OLさんを対象にした 授業プログラムを展開。普段ゆっくり物事について考える時間がない、自分とは違った分野の面白い視点を得たいという方が対象の時間です。

期日	曜	タイトル	概要	講師	予定時間	申込・備考
----	---	------	----	----	------	-------

開校日 SMF学校の開校を祝うセレモニーを行います。

9月24日	土	洗濯バサミで絵を描こう 10:00～13:00 お顔をトレース★肖像画 14:00～17:00	自由参加の2種のオープンWS (13:00～14:00 開校式予定)	矢花俊樹／協力:MO MASサポートスタッフ	前記	さいたまトリエン ナーレ オープン
-------	---	--	---------------------------------------	---------------------------	----	----------------------

都市計画と建築 生活都市さいたまを建築の視点で読み解きまちの魅力を再発見するプログラム。

9月25日	日	生活都市さいたまの魅力 ーまちとけんちくの視点から(鼎談)	建築と都市計画をめぐる鼎談	青山恭之、三浦清史、 渡辺範久	② ③	
10月7日	金	けんちくのうんちく	建築について語る夜(対談)	青山恭之、三浦清史	①	

コラボレーション 様々な表現者がその「&＼いわざ」を持ち寄って新たな表現を展開するプログラム。

10月8日	土	TIME TUBE ー建築&インスタレーションー	別所沼公園内ヒアシンズハウス前庭での 出前授業(レク・展示・WS)	三浦清史、SeeSew 協力:JIA埼玉	① ② ③	現地集合 申込不要
10月9日	日	彫刻ができるまで	彫刻家による制作の実演、ダンサーを モデルに創造の瞬間をウォッチする。	石上城行	② ③	
10月21日	金	写真・衣装・身体「時間のきものプロジェクト」	「時間のきもの2015」をめぐるアーティスト・トーク	SeeSew(浅見俊哉、 田村香織)	①	
10月22日	土	都市の化石づくり①、石の彫刻体験② ③	①都市で集めたモノの記憶をかたちにする ② ③石を磨いて都市空間に置く体験	①大場さやか ② ③石上城行	① ② ③	小学生以上 各15名 申込制
10月23日	日	②日本のテレビアニメの変遷について ③アニメーション表現が伝える日常&非日常	テレビアニメ50年、各時代を象徴する作品を 語りその可能性を探る。	②石上城行 ③小宮寛史	② ③	

パフォーマンス 人々が行き交う都市空間を舞台に、予測不能な時間をつくりだすプログラム。

11月4日	金	パフォーマンスって何だ？	3人の個性的なパフォーマーの表現を通して、 パフォーマンス表現の魅力に迫る。	奥平 聡、野口竜平、 野本翔平	①	
11月5日	土	パフォーマンス in さいたま	3人の個性的なパフォーマーがさいたまの 都市空間に身体を通して働きかける。	奥平 聡、野口竜平、 野本翔平	① ② ③	
11月6日	日	都市の音・まちの音	3人の音楽家を講師に、音の視点から 生活都市さいたまを読み解く。	大澤加寿彦、 柴山拓郎、林 文彦	② ③	

都市とアート 「都市空間と表現」の関係に様々な表現方法でアプローチするプログラム。

11月18日	金	ヒトを取り囲む「音・音楽・音響」	環境音をテーマに制作する3人の 音楽家がヒトを取り囲む「音」を語り合う。	柴山拓郎、林 文彦、 松本一哉	①	開催時間: 19:00～21:00
11月19日	土	①卵で起き上がりこぶしを作ろう！ ② ③ヒカルキノコを作ろう！	①「たまご から から」展開連WS ② ③ファイバーで旅するキノコを編むWS	①西尾路子 ② ③井上 唯	① ② ③	各15名 申込制
11月20日	日	これを受ければ 「ダンスは一日にして…成る?」	コンテンポラリーダンスの体験WS、 授業の最後に発表会を行う。	愛智伸江、 カワムラアツノリ、藤井 香	② ③	小学生以上 20名 申込制

映像とデザイン 映像やデザインの持つ「伝える力」を都市空間で考えるプログラム。

12月2日	金	デザインのキモとは？	2人のデザイナーのそれぞれの視点から デザインのキモを語り合う。	鈴木健太、中村 隆	①	
12月3日	土	まちを舞台にスマホで動画制作 ー新しい見方がまちを変えるー	スマホで動画作りのノウハウを知り、 さいたま市の魅力再発見をめざす。	浅沼 奨	② ③	小学生以上 15名 申込制
12月4日	日	写真とデザイナー私新聞をつくらう！ー	写真とデザインの関係を考え、素材を 生かして自分を伝える「私新聞」を制作	浅見俊哉、中村 隆	② ③	小学生以上 15名 申込制

部活 SMF学校の趣旨に合った様々なアーティストが独自のプログラムを展開します。

10月1日	土	サンドイッチアートマン in さいたま	「ブラカード型のギャラリー」を掲げ、 様々な都市空間でアクションを行う。	浅見俊哉と サンドイッチアートマンズ	② ③	
10月2日	日	アートプロジェクトって何？	アートプロジェクトの現況の概説と ケーススタディとしてのSMF分析	熊谷 薫	② ③	
10月11日～16日	日	OPEN CLOSET ＊11日(火)より連日10:00～16:00開催	クローゼットには大量の素材が眠っている。それらと 衣服が抱え込んでいる物語をオープンにし紡いだり つくりかえたりして、衣服が循環する場所をつくりだす。	田村香織	前記	捨てられないけれど、 もう着ない思い出の 衣服や着物を持参
10月29日	土	①「会社まるごとギャラリー」について ② ③みんなで挑戦！ドラムペインティング	①ユニークな展覧会企画を紹介 ② ③ドラムペインティングをまちに展開	①田中清隆 ② ③三友周太	① ② ③	協力：サンドイ ッチアートマンズ
10月30日	日	影をつかまえるー生活都市のフォトグラムー	生活都市さいたまをフィールドワークし、 フォトグラムの制作に挑戦	浅見俊哉	② ③	小学生以上 20名 申込制
11月12日	土	遠足：フナノ現場展・野焼き見学会	巨大積みわらフナノの完成記念イベントや TANBOプロジェクト現場展を見学	SMFメンバー、 協力アーティスト	15:00～17:00	現地集合 10名 申込制
11月13日	日	遠足：北浦とおかわり芸術祭見学	北浦とおかわり芸術祭(花咲かアート、 回遊美術館、おなかの旅など)を見学	SMFメンバー、 協力アーティスト	13:00～15:00	現地集合 10名 申込制
12月10日	土	サンドイッチアートマン in さいたま	サンドイッチアートマン in さいたま 最後の出撃&フィードバックの報告会	浅見俊哉と サンドイッチアートマンズ	① ② ③	

展示 SMF学校開校中、2人のアーティストが「食」をテーマに作品展を開催します。

9月24日～ 11月6日	土	小野養豚ん 食堂展	厨房空間を生かした作品展示	小野養豚ん	10:00～18:00	9/24 関連事業有
11月10日～ 12月11日	木	たまご から から 西尾路子展	厨房空間を生かした作品展示	西尾路子	10:00～18:00	

閉校日 SMF学校の閉校に伴い、修了証の授与式などを行います。

12月11日	日	修了式(修了証授与他) 5コマ以上の参加者へ修了証を授与			② ③	さいたまトリエン ナーレ フィナーレ
--------	---	---------------------------------	--	--	-----	-----------------------

会場：いずれも市民会館おみや・旧レストランスペースを拠点として展開
(一部大宮市街に出て行くプログラムもあります)
授業・部活時間枠：金夜⑩19:00～20:30 土日 ⑪10:30～12:00 ⑫13:00～14:30 ⑬15:00～16:30
申込：原則申込不要。申込制プログラムに参加希望の方は、①日付と参加希望プログラム、②お名前
(フリガナ付記)、③年齢、④〒・住所・電話番号、⑤メールアドレスを明記して、
eメール(SMFschool@artplatform.jp)またはFAX(048-824-0118) でお申し込みください。
9歳未満のお子様は保護者同伴でお申し込みください。

スタンプを5個集めると、SMF学校修了証が授与されます。

STAMP	STAMP	STAMP	STAMP	STAMP
-------	-------	-------	-------	-------

SMF学校参加アーティスト・講師陣

メンバー講師

 愛智伸江 ダンサー、振付家 さいたま市生まれ。3歳よりクラシックバレエを始める。高校卒業後、イギリスランベールスクールへ留学。ドイツのバレエ団にてプロとしてのキャリアを始め、現在はダンサー活動と共に振付、後進の指導にあたる。	 青山恭之 建築家、うらわ建築塾代表 アトリエうらわ一般建築事務所において、住宅を中心に設計活動を展開。また、「うらわ建築塾」などで地域の建築文化を探索している。武蔵野美術大学建築学科修了。ものづくり大学非常勤講師、神楽坂建築塾講師。	 浅見俊哉 SMF学校コーディネーター KAPL代表写真作家 作品を通して相互に関わりを持つ「場」「時間」をつくりたいと活動する。写真作品制作を得意とし、美術教育の視点や方法論を応用した造形ワークショップ、アートプロジェクトなどを数多く手がける。	 石上城行 彫刻家 テラコッタによる人物像やオブジェ作品を制作するなかから、ワークショップやアートプロジェクトの企画にも携わる。今回は、長年温めてきたテレビアニメについてのレクチャーにも挑戦する。	 大澤加寿彦 ミュージシャン 新潟県出身のシンガーソングライター。現在は埼玉県を中心に活動を展開。アート集団KAPLに所属し、2008年よりSMFに参加。音楽ワークショップや楽曲の提供、ダンサーとコラボレーションをしてパフォーマンスなどを行う。	 柴山拓郎 作曲家、サウンドアーティスト 東京音楽大学・同大学院・東京芸術大学美術研究科後期博士課程修了。作品は国内外で広く演奏・展示される。東京電機大学理工学部准教授、女子美術大学、国際基督教大学非常勤講師、SMF運営委員。
 中村 隆 グラフィック・デザイナー さいたま市生まれ。1990年 東京・恵比寿にて有限会社アームズ設立。2007年「さいたま市に会社を移転。SMFとの関わりは2008年から。『サイタマのアート』の制作に取り組みでいたい。	 野本翔平 市議会議員 1984年生まれ。行田市在住。2005年からパフォーマンスを始める。現在は行田市議会議員、NPO法人CILひこうせんアートディレクター。	 藤井 香 舞踊家 彩のくに創作舞踊団主宰。1988年 ロザンズ国際新人振付家コンクール・バジール・パレエ・ロザンズ賞、埼玉国際創作舞踊コンクール最優秀賞等受賞。主な作品に「風」「ゆる」「きのこのレシビ」等がある。	 三浦清史 こうた建築設計事務所 1972年 早稲田大学建築学科卒業。大成プレハブを経て、現在こうた建築設計事務所主宰。1984より「日本建築」セミナーに学び、現在、伝統木構造の会、ヒアンスハウスの会、日本建築家協会、SMFなどに参加。	 SYUTA(三友周太) Artist/Pharmacist 1967年 NY USA生まれ。埼玉・川越で育つ。医薬品開発の業務に携わる傍ら、美術家として社会とアートの係わり合いをテーマに活動を行う。アートを媒体にして人と人との関わりを結ぶワークショップなどを展開する。	 矢花俊樹 埼玉県立近代美術館 エデュケーター 1968年 長野県生まれ。金工家。2014年より、埼玉県立近代美術館の主任として、教育普及事業を担当。子ども達に鑑賞と表現の楽しさを味わってもらった、オリジナルワークショップを数多く企画し、実践している。

ゲスト講師

 浅沼 奨 映像クリエイター、フォトグラファー 1985年 東京生まれ。文芸大学教育学部美術系専修卒業。教育関係の映像会社や営業を経て、2016年3月にフリーランス。芸術祭参加や映像講師、指南本執筆、企業系CM製作など多岐に渡り積極的に活動中。	 井上 唯 美術家 1983年 愛知県生まれ。金沢美術工芸大学大学院 染織専攻修了。「織り」や「編み」といった生活の知恵に根ざした技法を用いた、特定の場所に対して新しい何かを存在させるような制作を行う。	 大場さやか 彫刻家 コンクリートと自然物を使い、立体やインスタレーションを制作。人やものが持つ記憶、経緯と時間、取り囲む空間など、見えにくい部分からのアプローチから、人の存在を証明、確認する程を大事にしている。	 奥平 聡 現在美術家 1983年生まれ。上智大学文学部哲学科卒業。2015年に美学校「未来美術専門学校アート科」(講師遠藤一郎)を修了。声を用いた作品を多く作る。	 小野養豚ん アーティスト 埼玉県立近代美術館「国道美術館」、川越市立美術館、中之島エニターレ、など展覧会に多数出品。病院とアートのコラボによるワークショップに参加するなど多方面で表現活動を実施。	 カワムラアツノリ 振付家、ダンサー、初期型主宰 18のときとビジュアルの「M」に衝動。学生時代に、舞台ホームページ、学生演劇「劇団黒川」に参加。フリーランスで、様々な仕事や活動に携わり、パフォーマンスと創作のつながりをつかみ、42才。
 熊谷 薫 アートマネージャー、アーカイブコーディネーター、アートリサーチヤー 2012年から東京・アポイント計画にて、地域社会で展開するアートプロジェクトの記録・アーカイブ・評価の一連の手法開発を積み、現在はフリーに、地域アートプロジェクトや芸術祭のマネジメントなどを務める。	 小宮貴史 KAPLメンバー 神奈川県出身。大学時代より現在までKAPLに活動。	 鈴木健太 デザイナー、演出家 「他者の感覚の設計」について考へながら、デザインと演劇を並行して制作。2016年1月神奈川芸術祭にて舞台作品「うみかた」、同年4月かみあみ芸術祭にて「生きているにやったこと」の制作に関わる。	 田中清隆 造形作家 1984年 多摩美術大学大学院修了。1986年 個展「光と素材」とした立体造形・陶器作品を制作。発表開始。翌年、毎年(2009除く)個展開催。その他、イベント企画、ディスプレイ・インテリア・ステイラティンなど多岐多岐。	 田村香織 衣装家、パタンナー 東京生まれ。舞台衣装、映像作品の衣装、衣装、衣装の枠にとらわれない一点ものの品々「HARAGI」を作る。着る人のことまで考えを込める。作り手の見える服作りをしている。	 西尾路子 現代美術家 東京都出身。文化学院芸術科を卒業。高校建築部助手を経て、2008年から「緑が丘」に在住する作品制作開始。「平面より立体へ展開する」参加型パフォーマンスを展開。ほぼ毎年個展。「生活を芸術」として、日常を遊ぶ。
 野口竜平 漂泊芸能者 1992年生まれ。武蔵野美術大学卒。距離と時間に対する人間の情れ「マレトリール」芸術の同時空間性」を軸にパフォーマンス作品やプロジェクトを積極的に発表している。夢は自転車で世界を旅すること。	 林 文彦 音楽家 電子音楽を軸にして音楽活動。パソコン、ソフト、ユニットでのライブ活動。近年では映像、ダンス作品などへの音楽、音響担当として関わりを持つ。	 松本一哉 音楽家、打楽器奏者 2013年 瀬戸内国際芸術祭の関連事業「おとこ」にてグランプリを受賞。2014年 原始感覚芸術祭2014 水のうたが音楽担当。2015年「水のうた」をSPEKKからリリース。	 渡辺範久 KAPLメンバー 2006年 工芸大学建築学科卒業。2007年にまちアートプロジェクトにメンバーとして参加。2008年からKAPLのメンバーとして現在まで活動。普段は建築行政に携わっていますが、まちの中でのわくわく作りを模索中。	 SeeSew アーティストユニット 写真作家浅見俊哉と、衣家田村香織が2014年に結成したアーティストユニット。2015年「時間のふた」のプロジェクト「2016年「Sunlight Flag Project」等、写真と衣家の視点による新しいプロダクトやワークショップを提案・展開している。	 サンドイッチアートマン さいたま 移動式ギャラリー 「プラカード型ギャラリー」に作品を展示し、まちの様々な場所を展示空間にするプロジェクト。身体を使ってまちにアートを届けていくことで、アート「場」について再考する機会をづくる。



主催：さいたまトリエンナーレ実行委員会
助成：平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業、公益財団法人 **NOMURA 野村財団**

さいたまトリエンナーレ2016とは
127万もの人々が生活するさいたま市に、世界に開かれた創造と交流の現場をつくりだすことを目指す国際芸術祭。
テーマは「未来の発見」。
アートを鑑賞するだけでなく、共につくる、参加する芸術祭です。まちの成り立ちや知られざる自然、土地の歴史など、生活都市ならではの魅力が見える、市内のさまざまな場所が会場となります。国内外のアーティストたちが発見する、多様で多彩なさいたま。その魅力あふれるさいたまに触れ、私たちのこれからの未来を発見していきます。
このチラシは10,000部作成し、1部あたりの費用は10円です。

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し
再創造するプラットフォームをめざしています。

<http://www.artplatform.jp> Saitama Muse Forum

